

第2学年 学級活動（2）指導案

日時：令和6年 6月27日（木）5校時

対象：2年1組 32名

指導者：田村 靖子

場所：2年1組教室

【研究主題】

よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動
～考え表現することのできる児童を目指して～

1 題材「給食をしっかり食べよう」

（エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成）

2 題材について

（1）児童の実態

本学級は、明るく元気な児童が多く、学級のあらゆる場面で友達のことを助けようとする姿がよく見られる。給食は、好きなメニューを喜び、楽しみにしている児童が多い。給食時は、給食当番を中心に配膳を協力して行うことができる。一方、食が細い児童も多く、野菜やきのこ、牛乳が苦手な児童もいる。やや苦手だという気持ちで簡単に減らす児童もおり、食べ残しも多い。アレルギー対応の児童は2名で、1名は、教室にエピペンを常備している。

（2）題材設定の理由

日頃から、好き嫌がなくしっかり給食を食べることを奨励しているが、食事については、児童の食習慣や家庭による違いがあるので一律に食べさせることが難しい。本学級では、本人の申し出の量に調節しているが、極端に減らす児童が多い。しかし、給食は、児童の成長期を支える栄養素をカバーするものであり、2年生の体に合った一人分の適切な量をしっかり食べられることが望ましい。そこで、生活科で野菜を育てている経験を関連付け、食への関心を高めたり、栄養士と連携をとったりすることで、適切な量を食べることの必要性に気付かせたい。本時では、特に栄養や健康に気を付けて給食が作られていることに触れ、感謝の気持ちでしっかり食べようという気持ちにさせたい。そして、自分ができることを児童自身が考え、自分に合っためあてを立てて実践できるようにしたい。

3 第1学年及び第2学年の評価規準

観点	よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
評価規準	自己の身の回りの諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、基本的な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の身の回りの諸課題を知り、解決方法等について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、進んで課題解決に取り組み、他者と仲良くしてよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 目指す児童像

本学級では、考え表現することのできる児童を以下の通りと考える。

- ・ 課題を理解することができる。
- ・ 友達の考えをもとにして、自分の考えを決めることができる。
- ・ 考えたことを文で書いたり、発表したりすることができる。

5 研究主題に迫るための研究の視点と具体的な手だて

【視点1】人間関係形成	【視点2】社会参画	【視点3】自己実現
違いを認め合い、 みんな共に生きていく力	よりよい集団をつくらうとする力	なりたい自分に向けて頑張る力
<p>板書 ○ 課題を理解しやすい工夫（本時）（事前）【視点1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ つかむ、さぐる、見つける、きめるという流れを掲示物で示すことで、本時の見通しをもつことができるようにする。 ・ 絵カードで、課題を直感的につかみやすくする。 ・ 事前に給食アンケートを取り、課題をつかみやすくする。 <p>資料 ○ 意志決定に結びつく資料の提示（本時）【視点3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動画を使って、給食室の様子を見せながら話をするので、給食に対する関心を高める。 <p>ゲストティーチャーや食材体験 ○ 課題解決への意欲付け（本時）（事前）【視点1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養士に授業に参加してもらうことにより、給食は、いろいろな人の努力で出来上がっていることを実感する。 ・ 給食に出るそらまめのさやむき体験をすることで、給食に対する関心を高める。 <p>場 ○ 意思決定しやすい場づくり（本時）【視点2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解決策を小グループで話し合うことで、自分の考えをもてるようにする。 <p>ワークシート ○ 実践することへの意欲付け（本時）（事後）【視点3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートは、実践が目に見えるようにめあてを達成したら印を付けられるようにする。 ・ 具体的なめあてを立てられるように、「一口」や「30分までに」など具体的な数字を書くようにアドバイスする。 		

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

- ・ 給食が、給食室の方たちの努力と工夫で、2年生の体に合った適切な量で作られていることを理解し、しっかり給食を食べられるよう、友達と話し合っ具体的めあてを決めることができる。

	児童の活動	・ 指導上の留意点	資料	○目指す児童の姿 【評価方法】
導入 つかむ	1 アンケートの結果を見て、給食は好きだけれど、給食がたくさん残ることに気付く。 給食をしっかり食べるために自分ができることを考えよう	・ アンケートの結果を見せることによって、給食への関心を高める。 ・ 「しっかり」とは、栄養をとり、健康になるためであることを押さえる。	アンケートの集計の結果 残菜の写真	○ 自分たちの実態を知り、学級の課題をつかんでいる。 (知識・理解) 【観察・発言】
展開 さぐる 見つける	2 なぜ給食が残ってしまうのか、わけを考えて発表する。 ・ おなかがすかない。 ・ きらいなものがある。 ・ たくさん食べられない。 ・ 時間がない など。 3 解決するにはどうしたらよいか、話し合う。 ・ 休み時間は外で体をたくさん動かす。 ・ 苦手なものも一口食べる。 ・ 給食の準備を早くする。	・ 完食している児童は、なぜ食べきっているのか考えさせる。 ・ 近くの人と話合いの時間をとる。 ・ 児童の発表により一つ一つ解決策を見付けていく。担任が動画を用いて給食室の様子を見せ、自分達のために手間や時間をかけて作っていることに気付けるようにする。また、栄養士に給食の量などについて補足説明をしてもらう。	児童が言葉だけでなく、視覚的に理解できる掲示カード 動画	○ どうしたら、課題を解決できるか考えている。 (態度) 【観察・発言】
終末 決める	4 話し合ったことをもとに、自分のめあてや実践方法を決めてカードに書く。	・ 話合いを踏まえて、行動目標になるようにめあてが立てられるようアドバイスする。 ・ そらまめのさやむきや野菜の収穫のことを思い出させて励ます。 ・ 励まし合って実践していくよう声かけする。	「一口は、食べる」など具体例を示す資料 めあてと実践が記録できるカード	○自分のめあてを見つけて実践しようとしている。 (思考・判断・表現) 【ワークシート】

7 事前指導

日時	児童の活動	指導上の留意事項
6月3日（月） 朝の会	タブレットの給食アンケートに答える。	日頃、どのように給食を食べているかを意識させる。 アンケートの結果をわかりやすいようにグラフにする。
6月12日 （水） （1校時） 生活	給食に出るそらまめのさやむきをする。	同時にそらまめに関する絵本や紙芝居などを読み聞かせをして食材への関心を高める。

8 事後の指導

日時	児童の活動	指導上の留意事項
7月5日（金） （5校時） 学級の時間	実践カードを見て自分の実践を振り返る。 友達同士で互いの頑張りを励まし合う。	頑張ったことを価値づけ、今後の意欲につなげる。

9 板書計画

給食をしっかり食べるために自分ができることをきめよう				
つかむ	さぐる	見つける	きめる	一口・毎日 15分
のこってしまう 残菜の写真	<ul style="list-style-type: none"> ・おなかがすかない 絵→うごく ・きれいなものがある 絵→どりよく ・じかんがない 絵→早くじゅんび ・たくさんたべられない絵→すこしずつふやす 		<ul style="list-style-type: none"> ・のこさないことをつづける。 ・きれいなものもチャレンジする。 ・かんしゃのきもちでおさらをきれいにするように食べる。 ・じかんないに食べる。 	

※ テレビにアンケート結果の円グラフを映す。